

# 組織目標評価報告書（令和3年度）

部局名： **環境管理センター**

部局長名： **寺 東 宏 明**

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<p><b>①教育領域</b></p> <p>1. 法定を含む環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育訓練を関連部局と協力し、実施する。 2. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育教材を作成し、公開する。 3. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する学部教育・大学院教育に参画し、全学的な環境マインドを醸成する。 4. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教職員対象の講習等を実施し、全学的な環境マインドを醸成する。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 【91-1】 【92-1】</p> <p>教育領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等</p> <p>1. 法定を含む環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育訓練を関連部局と協力し、実施した。 2. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育教材を作成し、公開した。 3. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する学部教育・大学院教育の講義を分担担当し、全学的な環境マインドの醸成に貢献した。 4. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教職員対象の講習等を実施し、全学的な環境マインドを醸成した。</p>
<p><b>②研究領域</b></p> <p>1. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する情報を収集調査し、本学の環境マネジメントに活用する(目標, 報告書, その他資料等)。 2. センター所属ならびにその業務に係る教職員は環境分野に関する研究成果を論文として公表する(センターとして1編以上)。 3. センター所属ならびにその業務に係る教職員は環境分野に関する研究成果を学会で発表する(センターとして1回以上)。 4. センター教員は学部研究資金獲得のための応募を行う(センターで1件以上)。 5. センター教員は学内外における共同研究を推進する(センターで1件以上)。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 【91-1】</p> <p>研究領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等</p> <p>1. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する情報を収集調査し、環境目標や環境報告書などの作成に活用し、本学の環境マネジメントに活用した。 2. センター教員が環境分野に関する研究成果を論文として1編公表した(Terato et al., Biocontrol Sci, in press)。 3. センター教員が環境分野に関する研究成果を1回以上学会で発表した(日本放射線影響学会第64回大会他)。 4. センター専任教員全員が科学研究費応募を行った(計2件)。 5. センター教員が学内外における共同研究を推進した(京都大学、近畿大学、広島大学等)。</p>
<p><b>③社会貢献(診療を含む)領域</b></p> <p>1. 環境報告書ならびに環境目標の公表により、ステークホルダーとの環境コミュニケーションを図るとともに本学が社会的責務を果たすことに寄与する。 2. 学内外組織ならびに学生との連携により、地域における環境活動を推進する。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 【91-1】</p> <p>社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等</p> <p>1. 環境報告書ならびに環境目標の作成に貢献し、ステークホルダーとの環境コミュニケーションを図るとともに本学が社会的責務を果たすことに寄与した。特に、環境報告書については実質的に環境管理センターが作成しており、SDGsを標榜する本学のプレゼンス向上への貢献は極めて高い。 2. 学内外組織ならびに学生との連携により、エコナイト等の地域における環境活動を推進した。</p>
<p><b>④管理運営領域</b></p> <p>1. センター教職員ならびに事務所掌部局職員が協力し、センターの業務を円滑に遂行する。 2. センター教職員ならびに事務所掌部局職員の業務分担を明確化し、センター業務の改善と効率化を図る。 3. センター運営委員会を始めとする関連委員会において、センターの位置づけとセンター業務のマネジメント体制を確立する。 4. 関連部局と協力し、センター業務の見直しを行い、効果的な全学環境施策の実施を目指す。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 【72-1】 【91-1】 【92-1】</p> <p>管理運営領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等</p> <p>1. センター教職員ならびに事務所掌部局職員が協力し、センターの業務を円滑に遂行した。 2. センター教職員ならびに事務所掌部局職員の業務分担を明確化し、センター業務の改善と効率化を図った。 3. センター運営委員会や環境マネジメント委員会等において、センターの位置づけとセンター業務のマネジメント体制の構築を推進した。 4. 安全衛生部、安全衛生推進機構等関連部局と協力し、センター業務の見直しを行い、効果的な全学環境施策の実施に貢献した。特に、作業環境測定の実施については両関連部局と検討を行い、効果的・効率的な実施体制を構築した。</p>
<p><b>⑤センター・機構等業務</b></p> <p>1. 環境マネジメント委員会等、環境施策に関する学内委員会の円滑な開催に務める。 2. 環境報告書を作成し、本学の環境活動の公開に貢献する。 3. 本学の環境施策の立案に関与し、本学の環境法令遵守に貢献する。 4. 化学物質管理システムの効果的運用を行うとともに化学物質監査を実施する。 5. 関連部局と協力し、廃液受入、排水管理及び作業環境測定業務を行う。 6. 特定施設(流し等)のデータベース化及び管理体制の整備を行う。 7. 業務計画に示す法定報告及び届出を行う。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 【91-1】 【92-1】</p> <p>センター・機構等業務における目標の達成状況</p> <p>1. 環境マネジメント委員会等、環境施策に関する学内委員会の円滑な開催に務めた。 2. 環境報告書を作成し、本学の環境活動の公開に貢献した。 3. 本学の環境施策の立案に関与し、本学の環境法令遵守に貢献した。 4. 化学物質管理システムの効果的運用を行うとともに化学物質監査を実施した。 5. 関連部局と協力し、廃液受入、排水管理及び作業環境測定業務を行った。 6. 特定施設(流し等)のデータベース化及び管理体制の整備を行った。 7. 業務計画に示す法定報告及び届出を行った。</p>